

啄木が愛したふるさと “おもひでの山、おもひでの川”が今もそこにあります。

やはらかに柳あをめる
北上の岸邊目に見ゆ
泣けとごとくに

啄木



岩手山を望む洪民公園に、大正11年に建てられた啄木歌碑第1号があります。

200人もの村人が参加して3日かけて石を運び1922年(大正11年)4月13日に除幕式を迎えました。公園内の看板には、「啄木の通った道」として「啄木がこの地にいた頃は洪民駅はなく、好摩駅が交通の主要拠点であった。洪民村に住んでいた啄木は、東京や函館に行く際には現在の鶴飼橋の下流に架かっていた元の鶴飼橋を渡り、このあたりから鉄道沿いに好摩駅に歩いたと言われている。」と書かれています。

盛岡商工会議所では、もりおかの短歌(うた)夏の部を募集中です。啄木も歩いた道を散策して一首詠んでみませんか。

